



世界自然遺産の島
屋久島

No.36
平成28年
12月

屋久島町 議会だより



活躍 飛躍 輝く屋久高魂（大型観光客船寄港時のおもてなし活動（情報ビジネス科））
シリーズ〔学校紹介〕（特別編）屋久島高等学校（P15へ続く）

《主な内容》

◇第3回定例会	2~7	◇一般質問	10~14
総括質疑	4	◇シリーズ〔学校紹介〕	15
常任委員会報告	6~7		

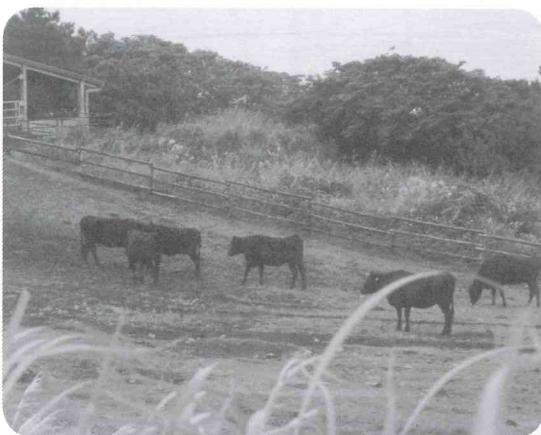
9月定例会の報告

平成28年第3回議会定例会

会期	9月6日～15日
審議条件	<ul style="list-style-type: none"> ○平成28年度一般会計補正予算 ○平成28年度特別会計補正予算=6件 ○条例案=3件 ○その他=4件 ○陳情=2件
可決等状況	<ul style="list-style-type: none"> ○肉用牛貸付けに関する条例の一部を改正する条例=修正議決 ○新庁舎建設設計画に対するパブリックコメントの募集を求める陳情=不採択 ○その他の議案等は原案どおり可決、同意、採択。

- 口永良部島健康広場条例の廃止 II 「口永良部島健康広場に定住促進住宅を建設するために廃止するもの」
- 手数料条例の一部改正 II
 - 〔印鑑登録証交付手数料・印鑑登録証再交付手数料及び身元、身分に関する証明手数料1件につき200円、印鑑及び印鑑登録証紛失の場合、1件につき500円を徴収して

条例の廃止及び一部改正



- 町債管理基金積立金=3千万円
- 公共施設整備基金積立金=5千万円
- 庁舎建設工事費=1億1900万6千円
- 府舎整備木材加工委託料=3116万9千円
- 府舎整備土地購入費=5671万3千円
- 各種予防接種委託料=353万5千円
- 山岳部し尿汲み取り経

- 費=746万2千円
- 屋久島土地改良区運営費補助金=100万円
- 外国語版観光パンフレット作製委託費=1675千円
- 観光緊急対策事業補助金=150万円

財源を確保し、安易な再交付申請の予防策等を図るための一部改正

- 肉用牛貸付けに関する条例の一部改正 II 「町有牛の貸付

正

補正予算

◇一般会計補正予算

2億9371万円を増額し、総額を110億8099万7千円とするもの。

【主な歳入】

○地方交付税=8925万7千円

○寄附金=330万円

○公共施設整備基金繰入金=3780万円

○町債=1億9106万円

【主な歳出】

○町債管理基金積立金=3千万円

○公共施設整備基金積立金=5千万円

○庁舎建設工事費=1億1900万6千円

○府舎整備木材加工委託料=3116万9千円

○府舎整備土地購入費=5671万3千円

○各種予防接種委託料=353万5千円

○山岳部し尿汲み取り経



土地改良区事務所(麦生)

9月定例会

- 屋久杉自然館資料取得等基金積立金＝330万円
- 町道等修繕経費＝300万円
- 熊毛地区消防組合負担金＝385万5千円
- 金岳小学校改築設計委託料＝900万円
- 公民館修繕料＝470万5千円
- 屋久島南部線、同南部支線災害復旧工事費＝851万1千円
- 船舶事業特別会計繰出金＝119万9千円

〔特別会計〕

- ◇簡易水道事業補正予算 人件費等40万3千円を増額し、総額を6億7612万9千円とするもの。
- ◇国民健康保険事業補正予算 給付費の増、介護給付金等に係る経費999万9千円を増額し、総額を25億276万7千円とするもの。

その他

- 固定資産評価審査委員会委員の選任について（9月30日）の任期満了に伴い荒木弘義氏、中馬義彦氏、緒方喜久氏、

以上の一部修正のあつた肉用牛貸付けに関する条例の一部改正（修正可決）を除き、その他の議案を原案のとおり可決・同意した。



日高 義政 氏
(原)



緒方 喜久 氏
(船行)



中馬 義彦 氏
(志戸子)



荒木 弘義 氏
(宮之浦)

を引き続き委員としてまた、日高義政氏を新たに委員に選任するもの。」



屋久島南部支線災害現場

陳情

- 新庁舎建設設計画に対するパブリックコメントの募集を求める陳情（屋久島の未来を考える会代表 松田正）＝不採択

〔反対討論〕

○満園 明 議員

新庁舎は、林野庁の補助金活用を前提にH25年8月から始まっている。町議会選挙は同年9月で私は小瀬田中跡地を利用すべきと主張している。

法定協で新庁舎は限りなく

町境と言われているので知らない町民はいな

いはずである。既に計画から実施段階にきて

いることからパブリックコメントは必要な

い。

○小脇清保 議員

2600の署名は大

太鼓演奏風景

○渡辺博之 議員

本計画に対し、これまで町民の意見を聞く機会がなかった。町長がパブリックコメントを拒否した以上、議会が町民の意向に沿つてやるべきだ。※採決の結果、反対多数で不採択。



9月定例会総括質疑

〔 所属する委員会以外のことについて 〕
〔 本会議で質疑を行なうものです。 〕

一般会計補正予算

問) 「新たな観光素材づくり」の内容と業務委託先はどこか。

答) 現在の島の観光は、縄文杉など山岳部を中心とするものが主流となっている。

そんな中で、家族連れや体力など年齢を問わず、もっと気軽に来島できる観光づくりが言われ続けてきた。

それに応える素材はあるが、まだ発掘されていなかったり、情報発信が不十分だったりしていると認識している。

今回、そのようなメニューの洗い出しを行いリスト化して、パンフレットやホームページ上で情報発信しようとするためのものである。

委託先については、議会承認後になる。

問) 屋久島観光振興対策補助金 150 万円はどういうに使われるのか。

答) 昨年度スタートした屋久島観光推進事業実行委員会に魅力ある商品作りの名目で支出するものである。近々、関東屋久島会が 70 名の規模で種子島・屋久島ツアーリーを予定しているが、今後期待できる。

新しい素材作りでは、今福岡市と連携している九州離島の事業がすでにスタートしている。

本府でも、すでに観光協会に依頼して、20 件ほどの体験ツアーを中心とする事業をピックアップしているが、評判は非常に高い。

食堂や宿泊施設については来年度以降順を追って充実させていきたい。

問) 安房の共同店舗（エコタウンあわほ）駐車場整備の追加費用はどんなものか。そもそも現駐車場は手狭だ。使っていない池を壊しスペースを広げてアスファルト舗装すべきではないか。

答) 当初で整備費用 400 万円を計上していた

が、安全上、歩道側面の補修も必要との判断で、担当課と協議を重ねた結果、追加経費として提案している。

今後は、機能しているとはいえない池を、水位を下げるなど整備して、しばらく様子を見てみたい。

現状を改善した上で、提案されたことについて、今後考えていきたい。

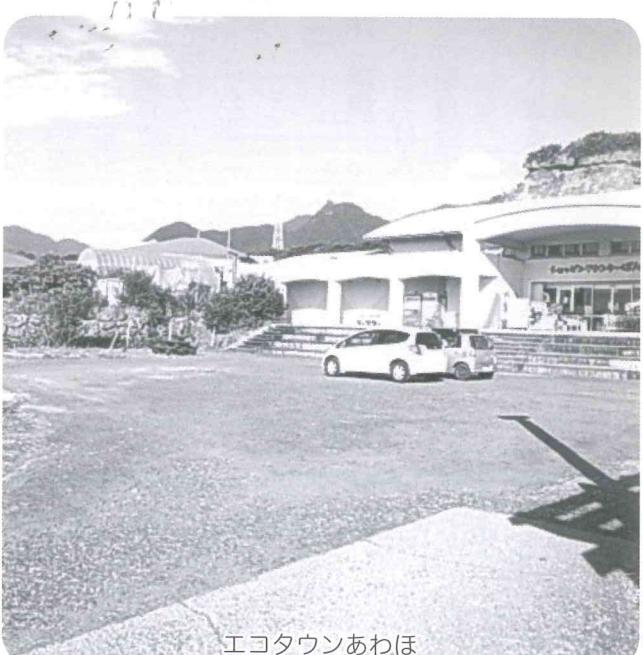
問) 山岳部し尿搬出（217 号支線経由）のためのモノレール設置事業 5 千万円の減額は、事業を白紙に戻すということか。継続であれば明拠繰越しの手段もあると思うが、明確にしてほしい。

答) 計画ルートに増水の危険があり、再検討が必要となったことは議会にも説明してきたが、環境省や林野庁との必要な調整が本年度内できることから事業費を削減した。

肉用牛貸付けに関する条例の一部改正

問) 和牛振興会会員が適用条件になっているが、法的整合性があるのか。差別規定になっていないか。

（この質問を受け、この条例は、その後委員会で審議され一部見直しされた）



第2回 臨時会

平成28年 第2回議会臨時会

会期	9月23日
審議条件	屋久島町安房体育館改修工事請負契約の締結について
可決等状況	原案どおり可決



○ 安房体育館改修工事請負契約の締結

指名競争入札の結果、安房体育館を耐震化構造へ改修するための工事請負契約を「ヤクデン商事株式会社」代表取締役 下泉 学」と5853万6千円で締結するもの。

以上、採決の結果、原案どおり可決された。

議会全員協議会報告 9月6日開催

○ 縄文杉周辺の施設整備（縄文杉南デッキの代替施設）について

（樋口森林管理署署長・山下森林生態系保全センター所長・自然保護管事務所の田中氏よりH28年度縄文杉展望デッキ等の工事にかかる説明を受ける）

【経緯】

・ H24年度に縄文杉の樹勢等経過観察の結果、正面の大枝の基部に空洞を含む腐朽部分を確認。大枝落下の危険回避措置として、デッキの一部を立ち入り制限し、大枝のケーブリング措置等を実施。

・ H25年度に縄文杉周辺の再整備について検討を始めると共に既存北デッキ撤去。H26年度に町議会、観光協会等関係者との意見交換、現地調査を踏まえ、北デッキ代替施設案を確定。設計業務開始。南デッキも代替施設を設置する方針を策定。・ H27年度に北デッキ代替

施設を施工。南デッキ代替施設の位置等について関係者と現地検討会を実施。関係者の意見を踏まえ、設計

設は、H28年3月29日から供用開始。北デッキ代替施設は、H28年3月29日から

業務開始。北デッキ代替施設完了。

【工事スケジュール等】

・ 南デッキ撤去及び代替施設等の設置について、設計及び28年度の工事スケジュールや工事期間中の利用制限等についてまた現在残っている林野庁の南デッキを撤去して、代わりに環境省がデッキを造ることについて、説明を受ける。

【主な質疑応答】

問 危険範囲20m内に木道を設置するのは論理矛盾ではないか。

答 危険範囲内に積極的に利用者を滞留させる施設を存在させないという考え方。

答 積極的に滞在させなくとも利用者が足を止めることは有り得るのでは。

答 それは有り得るので、歩道幅はあまり広くすることができなかった。
問 今年度工事にケーブリングの撤去が入っていないが。
答 すべてのデッキ工事が終わってからで、H29年度以降になる。

問 高速船のマナービデオの内容が古いので小まめに改訂したり、事前に改訂する必要があるのでは。

答 環境省が作成しているが、今回はデッキ工事や協力金のこともあり、次年度予算で改訂する予定である。

問 環境省が提出された「新庁舎建設計画についての話し合いの場を求める」申入書について

本件について、9月1日の議会運営委員会で協議を行った結果、議会全員協議会で協議することとなつた。

これを受け、意見交換を行つた。賛否両論あり、採決の結果、申し入れを受けが6名、受けないが9名となり、申し入れは受けないことに決定した。

審査報告

討論し採決まで行います。

総務文教常任委員会

本委員会に付託された案件は、条例案2件、予算案2件の計4件。

質疑応答等の主なものは次のとおりです。

口永良部島健康広場条例の廃止

問) 口永良部島広場に建設される定住促進住宅で広場すべての面積を使うのか。

答) 1棟3戸で、面積99m²なので、すべては使わないが駐車場整備を考慮し、全体を廃止する。

手数料条例の一部改正

問) 印鑑登録証を再交付するとき手数料を取つていなかったのか。

答) 再交付手数料は取つていなかった。今後は火災、窃盗等のやむ得ない場合は手数料の免除という項目で対応するが、基本的には500円の再交付手数料を取る。

一般会計補正予算（分割）

問) 公有財産購入費（新庁舎建設予定地）のm²あたりの単価は。

答) m²あたり5,800円である。土地利用目的は、職員駐車場などを予定している。

問) 新庁舎建設工事請負費の補正の内訳は。

答) 平成29年度に予定していた機械棟などを先に整備することが工法上よいと判断したことにより、共用部分である浄化槽5,000万円、電気関係6,600万円、機械棟6,400万円を28年度へ移し替えた。

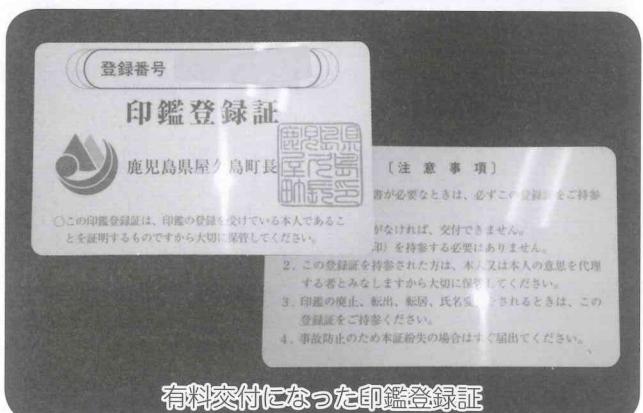
また、実施単価を精査したことで、フォーラム棟で2,800万円、窓口棟で3,300万円程度経費を抑えられることとなった。

今後実施設計を公開できる場をつくり、予算についても来年度の予算計上で示していきたい。

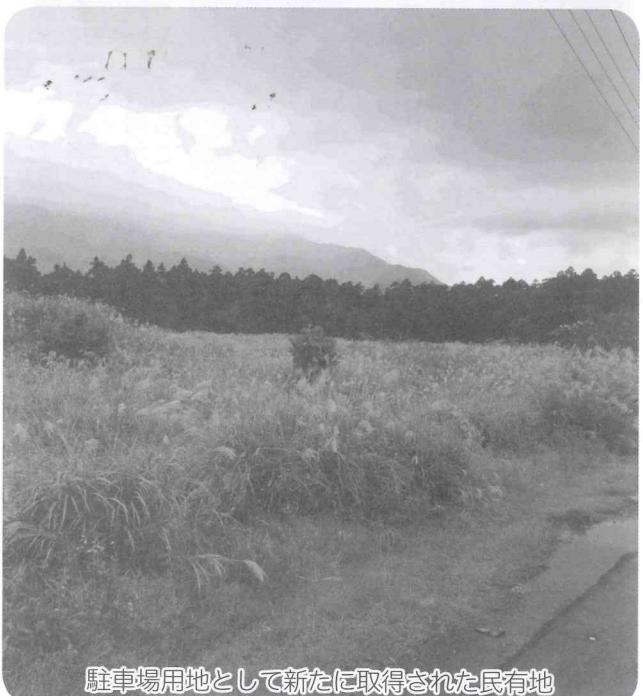
以上、付託された案件は全て原案のとおり可決すべきものとした。



工事が始まった定住促進住宅(口永良部島)



有料交付になった印鑑登録証



駐車場用地として新たに取得された民有地

産業厚生常任委員会

常任委員会

付託された議案を質疑、

本委員会に付託された案件は、条例案1件、予算案6件の計7件。
質疑応答等の主なものは次のとおりです。

肉用牛貸付けに関する条例の一部改正

- 問) 和牛振興会員であるものと限定することは不公平で条例としては不備があるのでは。
 答) 会員でなければならぬという条例ではない。
 問) 第3条の2項は畜産振興のためには、幅広く誰にでも貸すという意味から削除した方がいいのでは。
 ○ 総括質疑でもあったことを踏まえ、検討の結果、削除することになった。

一般会計補正予算（分割）

- 問) 工事請負費でモノレールルート（白谷線）変更により、減額計上しているが、設計コンサル料については支払っているのか。
 答) 昨年度予算で調整費として120万円支払っている。
 問) 28年度に目鼻がつくか。（山岳部モノレール事業）
 答) 4シーズンの調査が必要なので今年度に結果は出ない。
 問) 林道災害復旧事業現場管理事業業務委託料の内容は。
 答) 南部線及び南部支線の工期の延長によるものである。
 問) 松食い虫が蔓延している。特に、千尋滝周辺はひどいが対策は。
 答) 全町的である。その都度対応は難しい。基本的には残さなければならない所を重点的に処理する。他の所は必要に応じてやっていく。

簡易水道事業補正予算

- 問) 水質検査委託料が109万円減額になっているが。
 答) 入札の結果である。

国民健康保険事業補正予算

- 問) 5年、10年後を見据えた運営状況は。
 答) 30年度で制度改革があり先を見通すのは難しい。ただ、医療費が上がることは間違いないと思う。
 問) 繰入れが1年で8000万円下がった要因は。
 答) 国の制度改革で本町にも数千万円配分があり、その影響である。

診療所事業補正予算

- 問) 永田の皮膚科は月2回必要なのか。
 答) 長期的視点から検討していきたい。

電気事業補正予算

- 問) 町の電気料金は他の事業者より高いと聞くがどうなのか。
 答) 同じくらいと理解している。
 問) 建設改良積立金1億1200万円、災害準備積立金4700万円、この数字は妥当なのか。
 答) 建設改良は施設交換や設置のため。災害準備は南海トラフ等による大きな災害に備えるためだが足りないと思う。そういう意味で有事の時にすぐ対応できる積立金は必要である。

以上、付託された案件は、肉用牛貸付けに関する条例の一部改正では修正案が提出され、修正案のとおり可決し、その他については原案のとおり可決すべきものとした。



ほんたん館(麦生)近くの松枯れ

一般質問

- ◎一般会計補正予算の専決処分事項報告承認
- 9月19・20日の台風16号で被災した農林道（農道高平大山之上1号線・永田山寺線、林道楠川線・餅田線）と漁港施設（吉田漁港）の修繕に、事務手続き上緊急を要するため専決処分を行い、521万円を増額し、総額を110億円を増額し、総額を110億円とするもの。
- ◎新庁舎建設設計画の見直しを求める住民投票条例の制定
- 【歳入】

平成28年 第3回議会臨時会

会期	10月11日～18日
審議条件	○平成28年度一般会計補正予算の専決処分事項報告承認 ○平成28年度電気事業会計補正予算 ○新庁舎建設設計画見直しを求める住民投票条例の制定
可決等状況	新庁舎建設設計画見直しを求める住民投票条例の制定は否決。その他の議案は原案どおり可決、承認。



堤防破損の吉田漁港

第3回臨時会

- 特別交付税＝2810万円
- 町債（現年度発生単独災害復旧事業債）＝2400万円

町長等の選挙権を有する者の総数の5分の1以上の連署をもって請求があつたことから、町長が意見を付けて付議するもの。

【町長の意見】

新庁舎設置については町長就任以来、施政方針等で説明してきました。議会でも特別委員会を設置し、建設の方向性や位置等の議論が行われた。

これらを踏まえ、小瀬田小跡地に木造で新築する決断をし、議会に諮り予算も含め議決され、建設準備に着手した。

議会は町民による選良で構成され、付託を受けた議員が議論し決定する地方自治における最もパブリックな機関である。

請求書にある「町議会で予算を通し、強引に計画を進めている」との文言は全くこれまでの経緯を意図的に無視したもので、議会をも誹謗するかのように感じる。

また、就任以来、新庁舎関連の一般質問が31回もあつたことから、このことは町の最大の事項として各議員も認識

し、そして議員を介して町民の皆様にも大きな関心事と受け止められていると認識している。

設定のない住民投票は実施すべきではない。

また、これ以上のスケジュールの遅滞は事業目的の1つである島の産業構造、経済構造の改革が棄損されていくことが懸念される。

○真辺有次 議員

近所の方々等に、署名活動に来た人はどのように説明をしましたか。と聞いたら次のような内容だった。

「町は説明もろくにせず、20億かけて新庁舎を造ろうとされているので町に説明をさせたために署名をしてほしいとのみだった」・「子や孫が借金を背負うことになりますよ」・「税金や公共料金が上がりりますよ」・その他。中には、まるで強迫とも受け取れるような言動もあつたと聞きました。

○反対討論

○日高 豊 議員

本条例は町民に何の判断を求めるものか理解できない。請求者はフェイスブックで、現分庁舎方式で特段不便はないと言つており、新庁舎建設自体必要ないと主張している。

本庁舎方式の是非を問うとすれば、3分の2の特別議決は得だつたのか。また、事業の見直しであれば、本年度発注分の設計見直しを行い、約7千万円の減額が報告された。

このことから、署名された方々が内容を十分理解して署名したとは到底思えない。果たして本来の民意なのか疑問を持つている。

○寺田 猛 議員

この条例でどこまで見直しを求めるのか明確な

- ◎電気事業補正予算
- NTT電柱の移設に伴い、共架している送電線の移設工事費43万6千円を増額し、総額を6億7785万9千円とするもの。

- 【歳出】
- 重機借上料・修繕料＝112万円
 - 測量設計委託料他＝409万円

このことは町民大多数のご理解の上で進めてきたと確信しているので現時点での計画を見直す必要はないとの考え方から本条例制定の必要はないとの判断をする。

本条例は町民に何の判断を求めるものか理解できない。請求者はフェイスブックで、現分庁舎方式で特段不便はないと言つており、新庁舎建設自体必要ないと主張している。

このことから、署名された方々が内容を十分理解して署名したとは到底思えない。果たして本来の民意なのか疑問を持つている。

一般質問

いたりする範囲では本庁舎建設そのものに疑問を持つていてるのであれば、十数年前から合併に至るまでの道のり、合併後の議会で審議、可決したことなどが大きく問われる結果となる。場所選定の特別委員会の中でも本庁舎建設は全員一致で審議してきたと思う。

それらの諸々の決議を無にしないため、フォーラム棟をどう使つていけばいいのかについてパブリックコメントを求めたり、有効利用のための話し合いの場を設けたり、今後も多くの機会があると思う。

住民投票の実施で混乱に拍車をかけ、町民の行政・議会に対する不信感が増長し、大変なことになる。

の経費削減・後年度の公債費比率等を総合的に判断し、新庁舎建設はこのまま進むべきである。但し、もし削減可能なものが出了場合は、削減するとともに更に必要なものがあれば後年度に悔いを残さぬよう有利な起債等の使用期限内に整備すべきである。

また、この条例は見直しと賛成の二者択一である。投票する場合にどのような見直しをするのかが全く不明である。

統一が図られなかつた署名はどうなのかと大変疑問に思う。3月議会で庁舎建設は議決されたが、町民が借財をからわないベストな時期であり、また、町民の幸せを思い信念をもつて賛成した。

○真辺万里 議員
町長の提案、代表者の意見を聞き、町民の代表の一人として責任を感じる。これまでの合併の経緯、反対する同僚議員の意見に共感することも多々ある。これまでの当局の説明を踏まえ、住民投票は必要ないと判断する。

【賛成討論】
○小脇清保 議員
代表者は、決して庁舎建設そのものを否定しているのではない。中には多目的ホールのような無駄なものがある。このホールの建設に農林水産省の補助があり、当初4から5億の補助予定が1億数千万に減額された。その時点で直すべきだった。
1億数千万の補助で、4億も5億もかかるものを造るのはどうか。その代案として、屋久島はCO₂フリーの島なのでフォーラム棟を削り、そこにエコカー用の太陽光パネル充電ステーションを設置したらどうか。これは75%が国

の補助事業である。
20億を超えないとのことだ
つたが、9月議会で20億6千
万になつてゐる。このこと
で、今後も建設費の高騰が予
想される。これをゴリ押しす
るとしこりが残るばかりだ。

一般質問

7人が町の考え方を問う

9月7日と8日に行なわれた一般質問を通告順に掲載しています。

この内容は、議会会議録をもとに質問者の責任において質問及び回答を要約したものです。

なお、会議録は議会事務局・町図書室・各集落の公民館で閲覧することができますので、詳細については会議録をご覧ください。

フェリー太陽新船計画について

町長／快適で安全な船舶の実現に向けて努めてまいりたい



石田尾茂樹 議員

問 航路改善計画説明会及び島民アンケート結果について、どのように認識しているか。

答 7月29日、口永良部島へ島民アンケート結果について、どのように認識しているか。

問 今後の新船建造計画とスケジュールについて。

答 航路改善協議会で新船をつくるとなつたときは、平成29年度に代替船建造の協議会

を設置し、仕様、規格等を決定し、平成30年度に契約を行い建造に着手し、平成31年度中に就航の予定である。

ぶ、防火の面からも船足の速いスタビライザを備えた船を。

答 航路改善協議会の中で話をし、今後その結論を委員会で導きたい。

をしているが、十分な予算が確保されていないため、整備がおくれていますので、あらゆる機会を通じて予算確保の要望を重ねてまいりたい。

問 繩文杉発見から50年の節目であり、また、国民の休日「山の日」の制定とともにようやく新たな観光振興策として、今後どのように取り組むか。

答 本日では、十分な準備期間を確保できず、全島挙げての取り組みができませんでした。登山される方はもちろん、一般観光客や町民の皆さんに注目をしていただける効果的なイベントを取り組んでいく繩文杉50周年などよききっかけを生していく。

乳幼児医療費の窓口無料化を

町長／知事に要望したい



真辺 有次 議員

問 窓口で直接支払いを無くすることでの子育て世代の出費減などはできないか。

答 一旦窓口で支払うことが県の補助要件となっているが知事にその旨要望したい。

無料低額診療事業の導入を

町長／前向きに取り組む

問 貧困等でがまんして医療を受けない人を救済する「無料低額診療事業」を推進する考えはないか。

答 この事業は10項目にわたり基準があり、これをクリアしているのは屋久島徳洲会病院だけである。実施については病院の判断である。

問 生活困窮者が生活保護は受けたなく病院行きをため



宮之浦港

一般質問



所有者不在の空き家

問 所有者や管理者及び相続人不在又は居所不明、放棄宣言などで放置されている危険な家屋を町が費用負担して解体できないか。

危険家屋を町で解体を

答 前向きに取り組みたい。
要ではないか。町から徳洲会
病院に働きかけてはどうか。
らつている人もいると思う。



志戸子地区の浄水場

問 畠長／32年度からの予定
老朽化が進んでいる志戸子地区の簡易水道施設の早期改修はできないか。
答 32年度から一湊水源を利^リ用して志戸子、吉田に送水する。集中監視システムを導入し、24時間監視する改良工事を予定している。

「進に関する特別措置法」で代執行できるので、協議会を設置して実施していきたい。



就労継続支援事業所(宮之浦)

答 本町の障害者福祉サービスの現状と、今後需要が見込まれる障害者用グループホームの必要性の見解を伺う。



寺田 猛 議員

障害者用グループホームの必要性は

答 口永良部島の復旧復興に一番必要なのは常駐医師との声が多く寄せられていい。募集のあり方も含めて再度検討し、常駐医師を確保し、医療体制の充実に努力する。

問 口永良部島診療所の医療体制の充実のため医師や看護師等の確保の手法を再考し、治医大や徳洲会等にも協力を働きかけるべきでは。

口永良部島診療所の常駐医師の確保の有り様を再考すべきでは

一
障害者が種子島の施設に入所している。現在、民間で障害者用グループホーム建設の動きが複数ある。実現すれば障害者が屋久島で生活でき、経済的、精神的負担の軽減が図られるので、町として連携、協力していく。



建て替ラモ定の全丘小学校

金岳小校舎の建て替えの概要とタイムスケジュールは	
町長／木造校舎で30年度 完成を目指す	問 構造 概要・タイムスケジュールは。 答 地盤が弱く校舎に傾きがあり、健康障害が発生する危険性があるため建て替えを決定した。軽量化を図るため木造校舎とする。小中併設校のメリットを生かした設計とし、既存校舎より若干コンパクトな面積となる。28年度解体設計、地盤調査。29年度仮校舎設置、既存校舎解体。30年度新築工事着手、完成予定。

金岳小校舎の建て替え
の概要とタイムスケ
ジュールは

一般質問

が、改めてその必要性をお聞きしたい。

答 バリアフリーでトイレ、授乳室、大きめの集会場島の自然や観光、歴史、文化の紹介、集落の情報発信の場として活用していく。また空港に近い立地を生かして、観光客がくつろげ、来庁者と交流できる拠点としたい。

問 m^2 単価が国の基準32万円に対し庁舎建設は40万円（坪単価で130万円）、金額にして約3億円になるが、その根拠を示してほしい。

答 離島故の理由がある。離島調整が4%、物価の上昇、輸送コストなどを勘案してマックス（最大）で積算をしている。

意 ワークショップは「どんな庁舎が望ましいか」という一方通行の企画で、住民説明会ではない。認識そのものが間違っている。

意 議会では m^2 単価40万円で議論したが、その後に出された町報での説明は、43万6千円と、さらに3万6千円も高く設定されている。どうなっているのだろうか。



永田診療所の科目変更是 町長／慎重に検討する



小脇 清保 議員

問 現状では組織の体をなし観光協会の現状をどう捉えているか

町長／組織の存続や運営は非常に危ういと考える

答 改革に痛みは伴うものである。北部では個人の収入という事もあるので、内部で協議はいたします。

問 このまま進んだら運動は解職請求まで発展すると思うが。住民投票条例を可決する意見を沿えていただきたい。来ていないので、出て来てから考える。

問 来年度より税務相談員を廃止し担当課での全面的徴収になるが現行の徴収率は維持出来るか。

答 職員による臨戸徴収や各種方策を講じ維持向上を図る。現行の徴収制度がなくなると、南部の区では財源不足が生じる。対応策は考えられない。

庁舎建設について

答 観光協会長とも面談をし運営の厳しい状況も説明を受けたが現時点では支援策の意向に沿えない旨回答した。協会が期間を明確に定めて、打開策を講じるべきだと思います。

答 観光協会長とも面談をし運営の厳しい状況も説明を受けていたが現時点では支援策の意向に沿えない旨回答した。協会が期間を明確に定めて、打開策を講じるべきだと思います。

問 設計事務所に丸投げで20億になつたのではないか。技術の職員で精査して真っ正面から対応して削るものは削つており丸投げではない。

答 20億円を越える事はあります。技術の職員で精査して真っ正面から対応して削るものは削つており丸投げではない。

問 このまま進んだら運動は解職請求まで発展すると思うが。住民投票条例を可決する意見を沿えていただきたい。来ていないので、出て来てから考える。

答 きちんとしたものが出でてきています。

第3回定期会議員表決一覧（賛否の分かれた議案等のみ）○は賛成 ●は反対

※議長を除く

件名	議員名 結果											寺田	渡辺	満園
		石田尾	日高(忠)	永野	山崎	真辺(有)	岩川(修)	下野	岩川(俊)	日高(豊)	真辺(万)			
町手数料条例の一部改正	採択	○	○	○	○	○	○	●	○	○	○	○	●	○
一般会計補正予算(第2号)	採択	○	○	○	○	○	○	●	●	○	○	○	●	○
新庁舎建設計画に対するパブリックコメントの募集を求める陳情	不採択	●	●	●	●	●	○	○	●	●	●	●	●	●

一般質問・議会動向



バリアフリー化の町資料館(宮之浦)

障害者差別解消法に伴う対応は

町長／作成した対応要領を役場職員が理解し、実践できるよう周知徹底していく



山崎 利広 議員

などの事業者が適切に対応できるよう不必要な差別等の具体例を盛り込んだ対応指針を作成することになっている。

このため、9月1日付けで作成した対応要領を役場職員が理解し、実践できるよう非

問 本年4月から障害を理由とする差別の解消の推進に関する法律の一部改正（・障害

者に対する差別の禁止・合理的配慮の提供義務・苦情処理・紛争解決援助）が施行された。これに伴う今後の対応は。

答 市町村は障害者等から意見を聞き、対応要領及び会社

問 合理的配慮の提供として常勤職員を含む全職員に周知徹底していく。

答 新庁舎建設を控えていることもあり、思うようにバリ

アフリー化が進んでいない。

意 新庁舎建設までの間、本

役場内のバリアフリー化の取組みは。

問 地元へ残る若者に全額免除する奨学金制度を創設する考えはないか

答 教育長／若者の増は、町の活性化につながるの

で検討したい。

問 町はこれまで移住者対策

に努力してきたが、地元の残る若者に対し恩恵が少ない。

対象者に全額免除する奨学金制度を創設する考えはないか。

答 現況をみると若者の定住促進対策に積極的に取り組む必要がある。若者が増えることは、必ず町の活性化につながる。先進地の取り組み等も成ることになっている。

このため、現況をみると若者の定住促進対策に積極的に取り組む必要がある。若者が増えることは、必ず町の活性化につながる。先進地の取り組み等も成ることになっている。

このため、現況をみると若者の定住促進対策に積極的に取り組む必要がある。若者が増えることは、必ず町の活性化につながる。先進地の取り組み等も成ることになっている。

このことに対する町長の見解は。

答 就任以来、定住人口の増を目指し企業誘致等に努めてきたが、思うように行かない。

企業誘致のためには、まず光ファイバー整備が必要なので早く整備したい。

24日 総務文教常任委員会所管事務調査
(～26日まで・長崎県小値賀町)

27日 常任委員長研修会(鹿児島市)

11月 5日 屋久島夢祭り(安房)
5日 あなたのそばで県議会(安房総合センター)

7日 産業厚生常任委員会所管事務調査
(～9日まで・東京都日野市他)

7日 離島振興市町村議会議長全国大会、町村議會議長全国大会及び郡町議会議長行政調査
(～11日まで)

10日 戦没者追悼式(安房総合センター)
14日 県後期高齢者医療広域連合議会第2回定期会に係る全員協議会及び研修会(鹿児島市)

14日 口永良部島新岳噴火に伴う災害調査特別委員会現地調査(口永良部島)
15日 県離島振興町村議会議長行政調査
(～17日まで・沖縄県石垣市)

16日 種子島屋久島振興協議会による有人国境離島法に係る意見交換会(東京都)
熊毛地区植樹祭(屋久島町)

18日 第9回屋久島町駅伝競走大会
20日 県後期高齢者医療広域連合議会第2回定期会(鹿児島市)

24日 屋久島町エコツーリズム推進協議会総会
(離島開発総合センター)

議会動向(平成28年9月～11月)

- 9月 1日 第5回議会運営委員会(尾之間支所)
1日 屋久島森林管理署及び屋久島事務所と屋久島森林・林業・林産業活性化促進議員連盟との意見交換会(尾之間支所)
6日 第4回議会全員協議会
(離島開発総合センター)
6日 第3回定例会開会(～15日まで)
23日 第2回臨時会
23日 第6回議会運営委員会(宮之浦支所)

- 10月 3日 口永良部島火山防災連絡事務所開所式
(屋久島町)
5日 第7回議会運営委員会(尾之間支所)
6日 議会広報研修会(鹿児島市)
11日 第3回臨時会開会(～18日まで)
11日 議会決算審査特別委員会審査
(～11月1日まで)
14日 関東鹿児島県人会連合会との意見交換会
(屋久島)
21日 熊毛地区消防組合議会第2回定期会
(西之表市)
23日 鹿児島海上保安部種子島海上保安署開所式
(西之表市)

- 24日 総務文教常任委員会所管事務調査
(～26日まで・長崎県小値賀町)
27日 常任委員長研修会(鹿児島市)
11月 5日 屋久島夢祭り(安房)
5日 あなたのそばで県議会(安房総合センター)
7日 産業厚生常任委員会所管事務調査
(～9日まで・東京都日野市他)
7日 離島振興市町村議会議長全国大会、町村議會議長全国大会及び郡町議会議長行政調査
(～11日まで)
10日 戦没者追悼式(安房総合センター)
14日 県後期高齢者医療広域連合議会第2回定期会に係る全員協議会及び研修会(鹿児島市)
14日 口永良部島新岳噴火に伴う災害調査特別委員会現地調査(口永良部島)
15日 県離島振興町村議会議長行政調査
(～17日まで・沖縄県石垣市)
16日 種子島屋久島振興協議会による有人国境離島法に係る意見交換会(東京都)
熊毛地区植樹祭(屋久島町)
18日 第9回屋久島町駅伝競走大会
20日 県後期高齢者医療広域連合議会第2回定期会(鹿児島市)
24日 屋久島町エコツーリズム推進協議会総会
(離島開発総合センター)

シリーズ学校紹介⑬

屋久島高等学校

本シリーズの特別編として
島内唯一の高校である屋久島
高等学校を紹介いたします。

「屋久島高校だからこそできる」を 「合意言葉」に

鹿児島県立屋久島高等学校 校長 北 浩憲

本校は本年度で創立68周年
を迎えます。各学年普通科2
クラス、情報ビジネス科1ク
ラスの計3クラスで構成され
ており、現在247名の生徒
が在籍しています。

屋久島町内の中学校から
入学します。また、県外を含
む島外からの入学生も多く、
現在県外生9名を含む13名の
生徒が屋久島高校で楽しく学
校生活を送っています。

県外から入学した生徒に屋
久島高校に進学しようと決め
た理由を尋ねると、「大自然
を身近に感じながら勉強でき
ると思ったから」「屋久島が
自分に合っていると思ったか
ら」「都会の学校にはない少
人数の学級だから」「進学率
が良いと知ったから」「安心

して通えると思ったから」と
いうコメントが返ってきま
す。すでに来年度の入学に向
けて、現在までに全国各地か
ら複数の問合せがありまし
た。島外生に対する手厚い支
援体制の充実が急務となっ
ています。

2 情報ビジネス科では、一
昨年度から地域貢献活動が始
動しました。大型観光客船寄
港時のおもてなし活動や、特
産品の開発、オリジナルガイ
ドブック制作、ツアープラン
の企画など、地域振興に積極
的に参画しています。

3 普通科環境コースでは、
5 高校生クラブ「ぽんだま」
のボランティア活動が年間を
活発な部活動

暗くなるまで真剣に自主学習



外部講師による講義や野外学
習をとおして、屋久島の自然
と文化や社会を専門的に学ぶ
人材の育成を目指しています。
今年度は、口永良部島で
の野外活動実習を行いました。

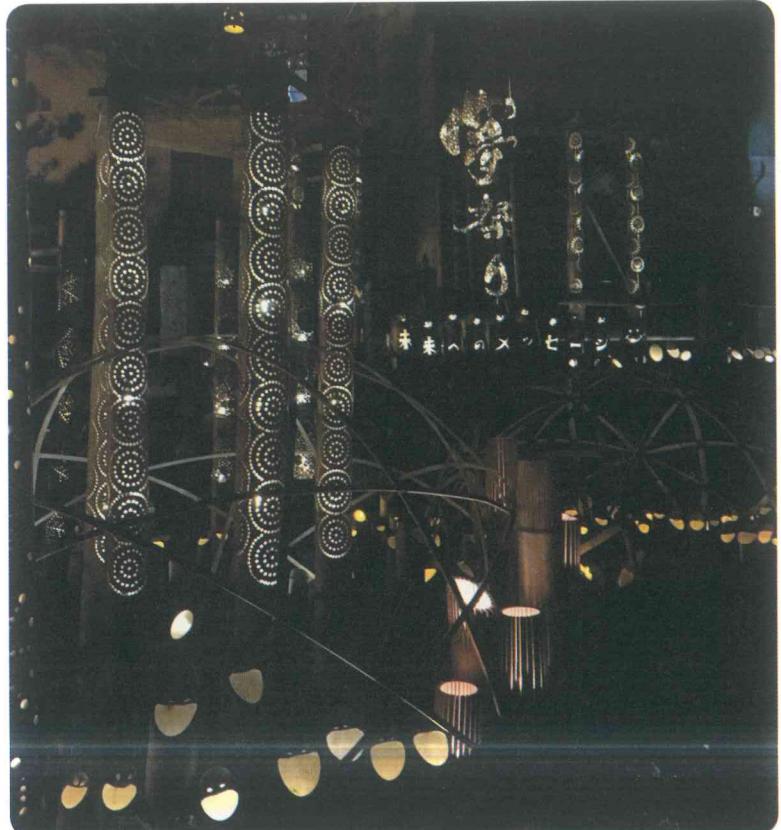
とおして活発に行われ、町民
から高く評価されています。
昨年度は熊毛地区社会教育関
係優良団体表彰を受賞しま
した。

屋久島高校は、町内に一校
のみの公立高等学校であるこ
との誇りを抱きつつ、屋久島
高校「でもできる」ではなく、
屋久島高校「だからこそでき
る」を合い言葉にして、これ
からも屋久島の子どもたちの
ために全力で教育活動を行う
所存です。皆様の一層の御支
援をよろしくお願ひいたしま
す。

お知らせ

投稿写真募集

風景・行事等テーマは問いません。
このコーナーで紹介したい写真をお持ちの方、ぜひご提供ください。
一言、写真の説明文を添付していただければたいへん助かります。採用された方には、粗品を進呈いたします。
不明な点がありましたら、議会事務局へお問い合わせください。



安房　如竹通りを灯す12000個の灯籠
(屋久島夢祭り)

投稿写真

相良 雄起様（宮之浦）

クイズ

問①印鑑登録証の再交付手数料は？

（ ）円

②一般会計補正後の総額

は？
（ ）円

③町内中学校から屋久島高校への入学率は？
約（ ）%

（内線372）

問1 (平成29年3月1日)
問2 (3回)

問3 (自主) 友愛(鍛錬)

※クイズの正解者の中から抽選により、3名の方に図書券を進呈いたします。

応募方法

住所・氏名・年齢を明記の上、ハガキで下記へご応募ください。

○山崎 スエノ様(栗生)
○風間 国彦様(尾之間)
○岩川 勝様(宮之浦)

議会を見にきませんか

- だれでも自由に傍聴できます。
- 受付簿に住所、氏名を記入していただくだけです。

◎議会(定例会・臨時会)は宮之浦支所と尾之間支所で開催されています。

6月1日から11月30日までは…宮之浦支所議場
12月1日から5月31日までは…尾之間支所議場

編集後記

◆締切日 平成29年2月3日(金)
消印有効。

◆応募先住所等
〒891-4404
屋久島町尾之間157番地
議会事務局クイズ係
電話 43-5900

▼前号の正解は、次のとおりです。
(内線372)

問1 (平成29年3月1日)
問2 (3回)

問3 (自主) 友愛(鍛錬)

○正解者の中から、抽選により、次の方々に図書券をお贈りしました。

○山崎 スエノ様(栗生)
○風間 国彦様(尾之間)
○岩川 勝様(宮之浦)

議会だよりを編集するにあたり考える事があります。どのように伝えるか、伝える事と伝わる事の違い、このことについて廣報委員会で良く話し合いで行っています。

どのような編集を行えば町民の方々に見やすく分かりやすい広報誌作りができるのか、広報委員会研修会、他町村の議会だよりなどでの学びをいかしながら今回の議会だよりより一部構成を変えていきます。

より良い議会だより作りを行ない町民にとってなくてはならない広報誌となるよう心がけています。

(追伸)
公職選挙法が改正され選挙権が18歳以上となりより分かりやすい議会だより編集が必要となります。

お気づき等あれば議会広報委員会までお知らせ下さい。(緒方)

お気づき等あれば議会広報委員会までお知らせ下さい。(緒方)

発行責任者
議長 日高好作

編集責任者
議会広報委員会
委員長 山崎利広

副委員長 緒方健太
委員 渡辺博之

真辺有次